

1. 用語

* JIS K 3800	規格書 JIS K 3800:2021 バイオハザード対策用クラス II キャビネット
* キャビネット	バイオハザード対策用クラス II キャビネット
* JACA	公益社団法人 日本空気清浄協会
* バイオハザード委員会	JACA バイオハザード対策専門員会
* 除染 WG	バイオハザード委員会*の内部ワーキンググループ、本制度の運営
* 除染方法小委員会	バイオハザード委員会の下部組織、本制度の原案作成
* JACA 追加除染方法	3. 概要に記載

2. 目的

除染 WG*の調査に基づき、「JIS K 3800* B.2 除染方法の評価」に準用する方法を JACA が第 3 者機関として情報提供する。

3. 概要

2) 一覧に掲載する情報「JACA 追加除染方法」は、申請者の報告に基づき、申請者の評価依頼書、及びその実態を除染 WG が調査して、JIS K 3800 に記載のある「検査機関に承認された除染方法」として準用できると評価したものである。また、JACA 追加除染方法は各者が行う除染作業の完全性および安全性を保証するものではない。

4. 本掲載の運用方針と免責

- 1) 記載する除染方法は、JACA が推奨し、有効性を保証するものではない。
(各者、各作業段階の条件が加わるので、各回の除染作業の適切性を保証することはできない)
- 2) JACA は JIS の要求する検査機関としての機能を十分に満足できないので、「準用」と表現する。
- 3) 本掲載は書類調査及び実態調査を行い、直接除染方法の評価を行わない。
- 4) 本掲載は評価時点の情報であり、最新情報は申請者に確認すること。
- 5) 本掲載に際し、除染剤及び除染方法の科学的安全性についての確認はしていない。
- 6) 知的財産は申請者の申告によるもので、JACA がその正当性を保証するものではない。
- 7) JACA は必要に応じ、申請者の意思を確認せずに追加除染法への掲載を削除できる。
- 8) 本制度は世界に先駆けた制度のため、最新の情報、情勢を基に掲載情報や手順は予告なく変更することがある。

5. 申請と公表の手順

- 1) 申請者は、新たな除染方法について JIS K 3800:2021 付属書 B の B.2 除染方法の評価 に基づき、申請する新しい除染方法を自己評価する。
- 2) 申請者は、JACA にて評価依頼書書式を取得し、実施評価の結果を加えて評価依頼書を作成し、JACA に評価を依頼する。

提出及び問合せ先： 公益社団法人日本空気清浄協会 jaca@jaca-1963.or.jp

- 3) 除染 WG は、書類調査により申請除染方法を評価し、実地調査により申請者の実装置や実施体制、手順及び除染手技を確認し、申請除染方法が実際に実現可能であることを確認する。

4) バイオハザード委員会は、書類調査と実地調査により申請内容に不備がないと判断した場合は、規定の内部手続きを経て、JACA 追加除染方法一覧に掲載する。

6. 補足情報

BI の菌種について、JIS K 3800 では枯草菌又は検査機関の承認の得られた生物学的指標 (BI) を使用することとしており、*Bacillus atrophaeus* (*B. subtilis*: 以下 *Ba*) を指定しているが、近年 *Geobacillus stearothermophilus* (以下、*Gs*) の BI の利用が世界的にも広がっていることから、本情報提供では枯草菌 (*Ba* を含む) だけでなく、*Gs* の BI を用いての除染効果試験も許容することとした。

7. 除染 WG [運営担当]

グループ長：	新開大史	(北海道大学)
メンバー：	木下俊明	(日本エアータック (株))
メンバー：	田村大樹	(バリデーター (株))

8. 除染方法小委員会* [原案作成担当]

委員長：	新開大史	(北海道大学)
副委員長：	田村大樹	(バリデーター株式会社)
委員：	荒川宏樹	(高砂熱学工業株式会社)
委員：	池田卓司	(ニッタ株式会社)
委員：	木下俊明	(日本エアータック株式会社)
委員：	熊本光博	(株式会社新興精機)
委員：	中司 等	(日本空調サービス株式会社)
委員：	中村浩章	(アース環境サービス株式会社)
委員：	宮地達智	(株式会社イカリストリファーム)
オブザーバー：	日野茂男	(鳥取大学名誉教授, バイオハザード対策専門委員会委員長)